



ぶどう新品種の育成 ～香り豊かな生食用ぶどうやアントシアニン豊富な醸造用ぶどう～

環農水研は24万4千㎡の広大な敷地を有しており、その中には広いぶどう畑があります。「デラウェア」「シャインマスカット」「巨峰」などお馴染みのぶどうもたくさんありますが、他所ではあまり目にすることのない品種もあります。以下のぶどうはまだ皆さまが入手ができないものばかりですが、今後、生産量が増えてくれば、生食やワインで味わっていただくだけでなく、色々な用途での利用をご検討いただくと幸いです。



棚仕立てのぶどう



垣根仕立てのぶどう

●「ポンタ」

2018年3月品種登録。「巨峰」と「ブロンクスシードレス」を交配。濃厚な甘さと芳醇な香りが特徴。大阪オリジナル品種として府内限定生産でブランド化を目指します。



ポンタ



大阪R N-1

●「大阪R N-1 (おおさかあーるえぬわん)」

品種登録申請中。ワイン醸造用ぶどう。アントシアニン（ポリフェノール的一种）を多量に含み、果肉まで着色するのが特徴。高品質な赤ワインができる。府内のワイナリーで育成され、親品種がまだ不明の謎のぶどう。

●「紫Jr. (仮)」 (品種登録未申請)

太閤秀吉にゆかりがあるとも言われ、大阪に古くから伝わるぶどう「紫(むらさき)」の自家交配苗から醸造用ぶどうの有望系統を選抜中。

その他、赤色で皮ごと食べられる新品種の育成を目標に交配に取り組んでいます。これからの様々な新しいぶどう作りに挑戦していきたいと考えています。



紫



品種交配試験

注「紫Jr.」の写真ではありません

詳細については、食と農の研究部 葡萄グループ までお問い合わせください。
電話 072-979-7035